

## 第2章 土地利用の動向

我が国の国土面積 3,779 万 ha のうち、森林 (2,510 万 ha) 及び農用地 (487 万 ha) は、逐年減少しており、宅地はわずかながら増加している。

我が国の国土利用の推移と現況

(単位: 万ha, %)

地目	区分	昭和50年		昭和60年		平成7年		平成12年		平成13年	
		面積	構成比%	面積	構成比%	面積	構成比%	面積	構成比%	面積	構成比%
農用地		576	15.3	548	14.5	513	13.6	491	13.0	487	12.9
森林		2,529	67.0	2,530	67.0	2,514	66.5	2,511	66.4	2,510	66.4
原野		43	1.1	31	0.8	26	0.7	27	0.7	26	0.7
水面・河川・水路		128	3.4	130	3.4	132	3.5	135	3.6	134	3.5
道		89	2.4	107	2.8	121	3.2	127	3.4	128	3.4
宅地		124	3.3	150	4.0	170	4.5	179	4.7	180	4.8
その他		286	7.6	282	7.5	303	8.0	309	8.2	314	8.3
合	計	3,775	100.0	3,778	100.0	3,778	100.0	3,779	100.0	3,779	100.0

資料: 国土交通省「土地利用現況把握調査」による。

## 第3章 土地所有・取引の動向 (略)

## 第4章 地価の動向

平成15年の地価公示では、昨年1年間の全国の地価は、

- ・ 住宅地は下落幅が拡大したが、商業地は下落幅が縮小した。
- ・ 地方圏においては、住宅地・商業地ともに下落幅が拡大した。
- ・ 三大都市圏においては、住宅地の下落幅は横ばい、商業地は下落幅が縮小した。
- ・ 利便性・収益性の差や個別の地点のおかれた状況による地価の個別化がより進行している。

地域別対前年変動率

(単位: %)

用途 公示年	住宅地		商業地	
	平成14年	平成15年	平成14年	平成15年
三大都市圏	6.5	6.5	8.5	7.1
東京圏	5.9	5.6	7.4	5.8
大阪圏	8.6	8.8	11.3	10.2
名古屋圏	4.4	5.6	8.1	8.0
地方圏	4.0	5.1	8.1	8.7
全国	5.2	5.8	8.3	8.0

資料: 国土交通省「地価公示」による。

三大都市圏の上昇又は横ばい(変動率ゼロ)地点数

	住宅地						商業地					
	上昇			横ばい			上昇			横ばい		
	H13	H14	H15	H13	H14	H15	H13	H14	H15	H13	H14	H15
東京圏	14	6	10 (10)	45	90	113 (102)	8	15	39 (15)	16	23	54 (32)
大阪圏	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
名古屋圏	5	0	0	130	11	13	2	1	1	0	2	1

資料:国土交通省「地価公示」による。

注:( )内はH14公示での新規増設地点を除いた地点数。

第2部 土地に関して講じた基本的な施策(略)